

団長の独り言

8月7日(日)「始まりました!」

劇団ふあんハウス第41回公演

「久美・美容室物語 板橋公演」の稽古が始まった。

今年の2月に赤坂にて行った劇団ふあんハウス第40回公演「久美・美容室物語」以来、約半年ぶりにこの作品と向き合う。

稽古場となる小学校跡地の一室に集まる皆さんは、再び「久美・美容室物語」の登場人物と生活出来る喜びを噛みしめながら、稽古開始前から、笑顔の花を咲かせているのだが、なんとも不思議なんだけど、このメンバー達と毎週のように稽古場で顔を合わせているのに、何故か? すごく久しぶりに再会をしたかのような気持ちになる。

毎週、毎週ずーっと「人生芸夢」の稽古で汗を流し、酸いも甘いも知ったるメンバー達なのね!

あのね、顔つきが違うんです。

「人生芸夢」の夢のとおり道々「の時は稽古の回数を重ねる度にみんなは「人生芸夢」の顔つきになっっているし、

「久美・美容室物語」の稽古を再開すると、メンバー全員の顔つきが、「久

美・美容室物語」の登場人物になるんですよねえ。

劇団ふあんハウスで長年芝居を創ってきたけれど、こんな現象が起こるという事を初めて知った。

「演じる」ってのはそういう事なんですかあ。

さて! その「久美・美容室物語」、

上野友記子ちゃん、岡田香錦さんというメンバーが新たに加わり、新生「久美・美容室物語」として始まる初日の読み合わせなので、ちよつとギクシャクするかな? って想像して挑んだ稽古なのだが、初っ端の「久美先生」役のみっちゃん(鈴木美千代)と、ゆみさん(ますだゆみ)の掛け合いに度肝を抜かされた!!!

とにもかくにもテンポがいい!

二人のコンビネーションが見事に噛み合っていて、明日日本番って言ってもおかしくないくらいの完成度! 二人の迫力ある芝居が頼もしく思えた。

そんな二人の好調な出だしに触発され、続く他の役者達もパワー全開! 2月の本番時よりも、さらにグレイドアップしている。

そんな中、新聞屋さんに嫁いだ「聡子」を演じ新メンバーのゆきちゃん(上野友記子)が、どう絡んでくるのか? というのが、みなに関心事項。

どのメンバーも平静を装いながらも、おそろく「お手並み拝見」的な気持ちで、彼女の芝居をさりげなく観察している空気が伝わってくる。

これねえ、経験したことのある人じゃないなきゃ理解出来ないかもしれないけれど、本番を終え、完全に出来上がった座組の中に、新たに入って演じるのって、緊張とプレッシャーで大変だそうです。

おそらくゆきちゃんも、緊張でガチガチだったはずなのに、まけちゃいなかった。

彼女らしい「聡子」を見せてくれて、お姑さん役となる小池さんとのバトル? もなかなか見応えがあり、当初の予定では、軽く流す程度にしようと思った今日の稽古なのに、「ゆきちゃん、そこはね、こうして: : ああして: : こうなって」と彼女にとっては初日の稽古であるにも関わらず、かなり事細かにダメを出したら、どんな感じになっっていく。

すると芸達者な他の役者達も、最高のパフォーマンスをバンバンと披露するので、1幕に登場しない私はすっかり1観客となり、読み合わせの域を超えた「芝居」に引き込まれていると、香錦さん(岡田香錦)演じる久美・美容室の常連客「佐知」の登場シーンへと進む。

「人生芸夢」で、香錦さんは、元・SKD出身のかつこよくて渋いダンサーを演じるのだが、「久美・美容室物語」では、彼女自身の出身地である「大阪の女性」を演じて貰う事となり、セリフも全て「大阪弁」に変更したら、とってもいい感じの庶民的な雰囲気醸し出し、「おもしろいおばちゃん」で「香錦ワールド」を炸裂させてくれた。そこで、「こりゃ負けちゃおれん」とばかりに、私もチンピラ役の「啓介」を結構チンピラっぽくやったけど: : どうだったかなあ?

いずれにしても、稽古初日での皆さんのこのクオリティーは期待出来ませぬ。世の中、まだまだ息苦しい日々が続いているけれど、お芝居を御覧になったお客様が元気になっていただく芝居を目指し、稽古に精進する劇団ふあんハウスでありました。